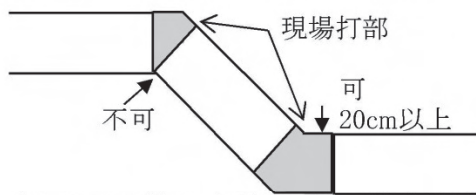
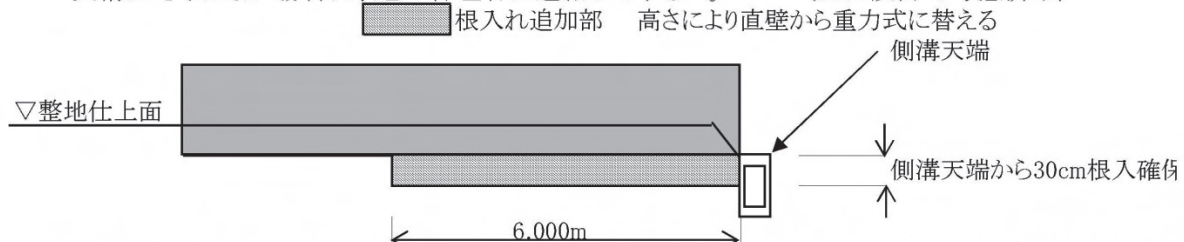


- (25) 水路隅切り部の処理について
現場打部の内側は強度を確保するため長さを最低20cm以上で断面の確保をすること。
決められた隅切り長は必ずチェックされますので、精度良く仕上げてください。
裏型枠の取り忘れに注意してください。



但し予め工場で、切断に対する補強鉄筋を設置している場合は、切断はOKです。

- (26) 擁壁工事の道路側溝と交わる部分は将来側溝天端の高さで駐車場設置工事で掘削することもあるため側溝天端から30cmの根入れで延長6mを確保してください。(設計変更の対象になります)
実情にそぐわない場合は、施工管理者に連絡してください。(ほぼ設計で考慮済み)



小断面の擁壁は、クラックが入りやすいので、10mにとらわれず、出来るだけ短い距離で目地を入れて下さい。新設側溝に取り付く場合は、締め固め状況を事前にチェックして下さい。

- (27) 材料承諾について
材料承諾の提出に当たっては、使用する工種も記入して下さい。
- (28) 側溝・擁壁など構造物際の埋め戻しについて
昭和町の埋め戻しは、特別に1層20cm以内と決めて埋め戻し時の十分な締め固めを求めています。本区画整理地内では、特に道路側溝際民地には、間をおかずブロック塀などが設置される場合が多くこの際、締め固めが不十分だとブロック塀などのクラックの原因になり組合に多額の補償を求めてくることとなります。埋め戻しに当たっては、土の保管、選定、十分な排水による締め固めを行って下さい。本区画整理工事では、一般の瑕疵に準じた対応をお願いしていますので施工に当たっては注意して下さい。組合が保管している砂礫質土を埋め戻しに使うことは出来ますので施工管理者と協議して下さい。
- (29) 既存大型水路の撤去後の埋め戻しについて
大型水路撤去後、地下水位が高い場合は、撤去底に厚さ30cm程度ガラ碎石を敷きその上にB碎石を又は発生砂礫土により盛土転圧して下さい。施工管理者と協議。
画地内は、ほとんど宅地仕上げになりますので、再生碎石等の再生材は使えません。

- (30) 整地について
- 1) 基盤、購入表土とも締め固め密度を十分に取るため、含水比管理と締め固め機械の選定に注意して下さい。設計ではタイヤローを計上していますが、地山の状況、盛土材により別途、**最適な機種を選定することは可能です**ので施工管理者と協議して下さい。
特に、細砂系の地山の場合、過剰転圧すると層が破壊されやすく、一旦破壊されると置き換えが必要となりますので注意して下さい。
 - 2) 良質表土(砂礫質土)のストックが残り僅かになっています。設計では砂礫質土と細砂土との混合改良土やB材と細砂土との混合改良土を使うようにします。改良土であっても最適含水比を越えると急激に地耐力が下がりますので、改良作業、保管、敷き均し作業での(雨天後など) **含水比管理には十分注意**して下さい。
 - 3) 細砂系統の残土や良質表土以外の表土等の盛土不適材については、従来は盛土に流用せずストックしましたが、今後は砂礫質土と混合改良で再利用します。

基本手順

①雑草の除根 場内仮置き場へ処分

②コンベネ測定により盛土面の可否判断(必要な場合)

コーン指数400以上

③-1 盛土盤に出来る場合は、その上に直接盛土。

③-2 攪拌改良する場合は砂礫質土又はB材とバックホウにて混合改良。

③-3 利用できない不良土の場合は、場内残土置き場に搬出。

購入表土厚: 10cm残しまで盛土後、基盤検査(高さ、締め固め状況) 注: 過剰転圧を避けること
流用土盛土: 自工区での発生土を盛土として使う。(良質のものだけを使って下さい)

採取土盛土2: 仮置きしてある砂礫質土と同じく仮置きしてある細砂土を1:1混合。試験済み

採取土盛土3: B材(B40-0)と同じく仮置きしてある細砂土を1:1混合。

購入表土: 良質土を購入して仕上がり面に指定した厚さを盛土する。

(区画整理地内の道路、公園等の公共用地以外では盛土材としてRC材は使用不可です)

密度試験 1回/500m³

- 4) 建設資材などの置き場として使われていた場所は、不純物が埋められていることが多いので、密に試掘をして下さい。不純物は見逃さないように100%撤去して下さい。施工管理者と協議畑地についても、マルチシートなどを完全に取除いて下さい。特に畔には農業用廃材が多く隠されて捨てられていることが多いので注意して下さい。
 - 5) 路床置き換えの新設道路の場合は、路床鋤取りと画地内盛土整地の進捗でバランスを取って進めて下さい。過去に、VS側溝が片寄り幅員不足のため全てVS側溝をやり変えたことがあります。
 - 6) **購入表土の仕上げ面は、高低差管理値が規格に合っていることのほか、平坦性(見映え)をチェックされます。**広い画地の場合、バックホウとローラだけで仕上げた場合、高低差・基準高については合格しますが、平坦性について手直した場合がありますので注意して下さい。ブルドーザ、グレーダーの利用。
 - 7) 水田仕上げにおいては、整地完了後、トラクターによる代掻き耕運結果を地権者に判断してもらうことになります。水を引き込んだの仕上げですので、±1cm程度が目安になります。面積が広い水田の場合、湛水均平が必要になりますので施工管理者と協議して下さい。いずれの仕上げをする場合でも、表土下の**基盤から均一な締め固めと平坦性を確保しないと、最終仕上げに悪影響が出てしまいます。**
 - 8) 畑仕上げにおいては、敷き均し後、1～2回程度のローラ転圧により不陸を解消して下さい。仕上げのローラ転圧は不要です。(耕運が出来る程度の締め固め) その分30～50mm高くして下さい。指定表土に石の混入が多い場合は、施工管理者と協議して下さい。
 - 9) **従前の水田用地から畑土、田耕土を確保する場合、ブルドーザによる集積には十分注意して下さい。過去に、仕上げ表土の中にゴミ、石が多く混入し、地権者の納得が得られず、完成後、何回も除去に手間がかかった例があります。重機作業の開始時期と手順は、慎重に練って下さい。**
 - 10) 除草は共通仮設に含まれていますが、処分費は変更対象となります。産廃マニフェストが必要です。基本は草刈り後、集積、産廃処分となります。**草刈りをしないで、重機などでの集積は不可です。**
 - 11) 道路側溝沿いなど**既存構造物際の整地・擁壁設置に当たっては、埋め戻し土が十分締め固められているか確認して下さい。**締め固めが不十分な場合は施工管理者と協議して下さい。
- (31) 保安関係 別紙「保安施設配置図・・」参照
- 1) **第三者対策について**
区画整理地内は側溝、路盤、宅盤が出来た段階で下水工事、水道工事、舗装工事の完了前であっても**建築申請が許可され、一般に開放していきます。**周囲に立ち入り禁止看板や、立ち入り禁止柵が設置してあっても、地権者やその関係者は入ってきます。立ち入り禁止柵内であっても、各工事毎に開口部養生等の**第三者の事故防止対策は市街地での工事と同様に徹底して下さい。**
 - 2) 地権者毎の工事対策について
各地権者毎の家屋新築工事、ビル工事が今後増えることが予想されます。区画整理に関する工事が優先と思いがちですが、多くの場合、地権者サイドが優先しますので、地権者を含め個々の工事関係者と互いに理解し調整して良好な関係を保って下さい。
 - 3) 工事用道路への出入り口の管理について
PM5:00以降に各出入り口から出る会社は、必ず柵を閉めて下さい。
(原則として他業者が残っていても 柵を閉めることによって作業終了の意思表示となるため)
休日や、8:00以前PM5時以降に資材搬入などで柵内に入れる場合は、必ず当該工事職員が付いて下さい。
 - 4) 交通誘導員
昭和バイパス、甲斐中央線など、交通誘導員が必要な箇所に於いては、誘導員を配置して下さい。ピストン運搬の場合、常駐して下さい。他工区と競合する場合は、工区間で調整して下さい。その他交通誘導員の要不要については各工区で判断して下さい。
- (32) 安全協議会
区画整理地内工事(補償工事など小工事は除)請負会社は、原則として安全協議会に入会となります。
具体的な活動
- ・ 区画整理地内の共通する保安施設の維持管理。
 - ・ 毎月1回 地域の環境美化に関する奉仕活動。
 - ・ 区画整理地内の工区間の見学会。

(33) 打合せ簿について

- ① 打合せ簿には日付、打ち合わせ内容(提出、協議、承諾など)を必ず記入して下さい。
- ② **設計変更が伴う協議書記載例は「・・・月・・・日の施工管理者との現地立会結果に基づき作成した別紙施工図により施工するので協議します」** 工程会議資料や新規工事留意事項による指示についても**前期同様の内容で作成して下さい。**
- ③ 材料承認願いなど打合せ簿が厚くなる場合は、提出時に綴じ孔を開けてして下さい。
- ④ 材料承認願いは、どの工種に使うものを記載して下さい。
例:RC40-0・・・基礎碎石、下層路盤(厚15cm以上)
- ⑤ 打合せ簿の入れ物は、封筒でなく出来ればクリアファイルをお願いします。各工区使い回しが出来るため。

(34) その他

- ① 区画整理工事以外(水道工事、下水工事)の残土の受入や場内仮置きは原則として出来ません。但し整地工事が完了した箇所については、その地権者と独自に借地契約をした場合は、可能です。
- ② 区画整理工事はまず側溝工事から施工します、その後に施工する整地工事・下水工事・水道工事等が完了する際には、側溝の補修だけでなく内部・インハート面の掃除をしていただきます。豪雨などにより土砂が流入した場合も原則として掃除をお願いします。他工区の工事が原因の場合は、その都度協議します。
- ③ 工程会議への出席者は原則として作業所長:現場代理人等 工程会議での協議や決定に権限を行使でき又、協議・決定事項を自工区の全作業関係者に周知できる方とします。
- ④ 工事契約時に提出した現場代理人、主任・監理技術者に変更がある場合は、変更届を提出して下さい。

